

☆学習課題：日本の川と平地には、世界と比べてどのような特色があるのだろうか。

☆学習活動

教科書 P146～147

STEP①：日本の川と世界の川を、教科書 P145 の資料3で比較し、気付いたことを書きましょう。

例

日本の川は、河口からの距離が短く、世界の川と比べて標高の高いところから流れている。  
世界の川は、河口からの距離が長い、標高は低い

STEP②：平地や盆地に見られる地形をまとめましょう。教科書 P147 の資料6～9を見ましょう。

海に面している：（ 平地 ）  
（ 扇状地 ）：川が山間部から平野や盆地に出たところに土砂がたまって造られる扇形の地形  
（ 三角州 ）：川が海や大きな湖に流れ込むところに見られる  
（ 台地 ）：川や海に沿った低い土地（低地）より一段高いところに広がる平らな土地

STEP③：土地利用についてまとめましょう。

扇状地：果樹園  
三角州：水田  
台地：畑  
低地：水田

☆まとめ

-----  
日本の川は、山から海までの距離が短いため、急流で流域面積がせまいという特徴がある。平地は国土面積の約4分の1だが、多くの都市は平地や盆地につくられ、人口の大部分が集中している。地形によって、土地利用が異なる。  
-----

☆振り返り

★最後に語句プリント（別紙）で内容をマスターしましょう★